

実験の概要

2019年7月より京都丹後鉄道沿線地域に提供予定のスマホ向けWILLERS MaaSアプリの拡張機能として、様々な移動手法・周辺施設におけるQRコードでの一括予約・決済機能導入の効果を測定する

協議会の構成員

全体統括	WILLER株式会社、京都府
沿線自治体	兵庫県、福知山市、京丹後市、宮津市 舞鶴市、伊根町、与謝野町、豊岡市
交通事業者	WILLER TRAINS株式会社 丹後海陸交通株式会社、全但バス株式会社
観光関係者	一般社団法人 京都府北部地域連携市圏 振興社、一般社団法人豊岡観光イノベーション
システム開発	WILLERS PTE, LTD.、AZAPA株式会社

地域の交通課題

① 鉄道・沿線交通の利便性

地域交通が低密度で交通空白地が多いことに加え、移動に関する情報(経路・所用時間・料金・乗車方法)に関する情報が不足。

② 高齢者を始めとする免許非保有沿線住民の孤立

沿線住民の徒歩可能距離を考慮した地域交通が不足しており、マイカーなくしては気軽な外出ができない。

③ 地域交通事業者におけるチケットレス対応への投資負担

都市交通利用を前提としている既存のICカード等のシステム導入は、投資負担が大きく導入が難しい。

実験内容

① WILLERS MaaSアプリへのQRシステム導入、並びに沿線交通・施設へのQR読取システムの導入

- 2019年7月提供予定のMaaSアプリでは、経路検索、一部事前予約・配車・決済を可能とする。
- 本実証でQRシステムを導入する事で、区間乗車含む全ての交通及び周辺施設での決済をアプリで可能とする。

導入対象: 京都丹後鉄道、丹後海陸交通等の沿線バス、タクシー、ケーブルカー、遊覧船、地域のお土産店、道の駅、飲食店等。
対応言語: 日本語・英語・中国語、アプリはダウンロード無料。

② WILLERS MaaSアプリならびにQRシステムから取得したデータの沿線地域における利活用

- MaaSアプリより取得する利用者属性データに加えて、QRデータから行動履歴及び消費履歴データを把握する。
- データに基づくオンデマンド交通を始めとする地域ニーズに根差した新交通サービスの企画や、地域計画に役立てる。

本格的な導入に向けた検証項目、目標値

KPI-1: QR決済・チケット利用回数: 1,000回/月

(インバウンド観光客に特化した利用回数は目標値を定めず継続的にモニターする)

KPI-2: QRシステム利用満足度: 5点満点中3.7点以上

KPI-3: QRを活用した公共交通乗継回数: 500回/月

(実証開始後、継続的にモニターし、公共交通における回遊性の指標とする)